

予算編成の基本的な考え方

- **明治150年を契機**として、県づくりの主役である県民をはじめ、県全体の活力を高めるとともに、その高まりやこれまでの県づくりの成果を活かし、新たな時代を切り拓く「**3つの維新**」への挑戦を始動します。
- また、当初予算編成過程を通じ、**行財政構造改革の確実な具現化**に取り組み、「3つの維新」への挑戦を支える、揺るぎない行財政基盤の確立に一定の道筋をつけました。
- これらを踏まえ、平成30年度当初予算を「**『3つの維新』発進予算**」と位置付け、新たな県づくりを速やかに進めます。

1 「明治150年」の開花と未来への継承

県民や市町をはじめ、県内のあらゆる主体と一体となって取り組む「山口ゆめ花博」の開催などを通じて県全体の活力を高め、明治150年を契機とするこれからの県づくりにつなげます。

2 新たな「3つの維新」の始動

これまでの県づくりの成果の上に立ち、最重要課題である人口減少問題や地方創生の実現など、県政が直面する課題に立ち向かっていくため、山口県の未来を切り拓く「3つの維新」への挑戦に向けた、新たな施策を推進します。

3 財政健全化に向けた行財政構造改革の確実な具現化

行財政改革統括本部で取りまとめた方向性に沿って、歳出構造改革や財源確保対策の取組を確実に具現化し、収支均衡した財政構造への転換に向けた一定の道筋をつけました。

当初予算のポイント

◆ 当初予算規模（一般会計）

6,730億円（対前年度比 $\Delta 79$ 億円、 $\Delta 1.2\%$ ）